

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する理事長メッセージ：
COVID-19 が蔓延する時代における家族看護の貢献

はじめに、新型コロナウイルス（COVID-19）が蔓延したこの時代に生きるすべての皆さまにお見舞い申し上げますと共に、この脅威にプロフェッショナルとして果敢に立ち向かっている医療保健福祉関係者の皆さまに敬意を表します。

この数か月間、COVID-19 の感染拡大は、世界中で生物学的・心理学的・社会経済学的に甚大な影響をもたらしました。医療機関や地域で働いている看護職にとっても、厳しいときが続いています。どの家族も未曾有の経験をしています。病棟の面会制限などによる家族の分断が、療養者・患者に孤独な闘病生活を強いてしまったと感じることがあれば、家族にはつらい悲しみが遺ってしまうかも知れません。一方、外出自粛・社会活動の縮小などによる家庭内での家族の接触機会の増加もまた、社会的な不安と相まって、家族のストレスや葛藤を増大させているようです。そしてこのような家族の中に生じた変化は、COVID-19 が終息したとしてもすぐに元に戻るというものではありません。日本家族看護学会では全国の家族支援看護専門看護師の皆さんのご協力のもと、COVID-19 が蔓延する時代において家族に生じている課題と家族支援について、現状や支援ニーズを整理し、学会としてできうる活動について検討を進めているところです。この時代に貢献できる中長期的な家族支援を実践現場へ向けて提示してゆきたいと考えています。

2020年5月 日本家族看護学会理事長 上別府圭子

なお、家族支援に関係の深いサイト（看護師向け・家族向け）を以下に紹介いたしますので、参考になさってください。

- 1) 国際家族看護学会（IFNA）internationalfamilynursing.org

COVID-19 Pandemic and Family Nursing: IFNA President and President-Elect Offer a Message to Members.

（国際家族看護学会会長 Dr. Sonja J. Meiers

同 選挙管理委員長 Dr. Veronica Swallow のメッセージ、英語）

- 2) 一般社団法人日本家族療法学会学会声明 <https://www.jaft.org/archives-1026/>
 - ・認知症を介護するご家族へ
 - ・家族と接する時間が増えた今できること